



# 埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Community Service



## 2021-22年度 会長テーマ「地域と繋がろう・地域に知られよう」

関東東部部長 大澤和子(所沢)「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」

東日本区理事 大久保知宏(宇都宮)「私たちは次の世代のために何が出来るか？」

アジア地域会長 Ohno Ben(大野勉・神戸ポート)“Make a difference beyond the 100th”「100年を越えて変革しよう」

国際会長 キム・サンチュ(韓国)“Y's Men with the World”「世界とともにワイズメン」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上松寛茂 / 書記 水無瀬隆三 / 会計 三浦雄二  
直前会長 上松寛茂 / ブリテン 水無瀬隆三・浅羽俊一郎 / 担当主事 太田 聡



### 会長挨拶

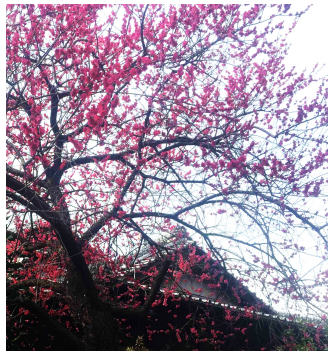
浅羽俊一郎



2月になったら昨年同様「禍中お見舞い」を世話になった方々に出そうと思っていた矢先、3回目のワクチン直後、夫婦揃ってコロナ陽性の判定。希少な2月の日々をほぼ自宅で費やすことになってしまい自宅隔離に。クラブ例会・

ブリテンや地域活動も休むことになってしまいました。4キロ痩せた顔をフェイスブックに載せたら音信不通の友人からも応援メッセージをいただきました。

3月初めに歩数稼ぎに浦和界隈を散策。紅梅が目に染みしました。



2月も終盤の24日ロシア軍がウクライナに侵攻しました。このニュースに多くの人が驚くだけでなく、様々な過去の出来事を思い出したことでしょう。今回改めてSNSなどソーシャルメディアが被災者たちの声、戦争に反対する市民の姿などを時間をおかずの世界中に発信することで、時の政権やスポンサーの意向に配慮する既存のニュース媒体が色褪せて見えました。そんな中でも人道支援団体のスタッフチームが現場で人々に寄り添っている姿には感謝を覚え、何らかの支援を送りたくくなります。

と同時にアフガニスタンやイエメンのようにSNSの少ない地域の人々はほとんど忘れ去られてしまうことにも気がつきました。胸が痛みます。❖

### 今月の聖句

「その人たちの最後は滅びです。彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光とし、地上のことだけを考える者たちです。」(フィリピの信徒への手紙3:19)

### 私の心に触れた言葉

浅羽俊一郎

「腕は2本あり、それぞれできることがあり、片方の手が使えなくても、もう片方でこなせることがあります。でも脚は2本セットでしか役立ちません。1本だけではあるけません。日頃から両脚を大切にしてください。」

(ある日リハビリ中に理学療法士が発した言葉)

昨年11月のある雨降りの朝、何物かに足を取られ、転び、左肩をいやというほど硬い地面に打ちつけた。それから3ヶ月しても腕は上がりません。止むを得ず近所の整形外科のリハビリに通院することにした。肩をマッサージする若い療法士が数名いるが、当番と話すとなかなか進まない。医者とは違って、彼らは気が向くと肩を揉みながら専門のこと、体験談など開陳してくれる。上の言葉もそんな一人に教わった。確かに片足をかばいながら歩くとき、実はかばう脚はさらに弱り、元気な脚には負担をかけている、と気づいた。

### 3月「ウクライナ」例会 案内

日時：3月28日(月) 午後2時～4時  
会場：「き咲きてらす」(浦和区木崎3-6-6)  
開会：点鐘・モットー・ソング・聖句・祈祷  
ゲスト紹介・誕生日/祝い事

卓話：「なぜ『対話』する場所が必要か」

浦野都光氏(プロフェッショナル・チューター)

- \* 参加費 300円(茶菓代・経費)
- \* 閉会后その場で懇親会予定しています。
- \* コロナ対策は皆さんで心がけてください。

## ◆ 1月「寒梅」例会メモ

今年最初の「寒梅」例会（24日）は上松直前会長と浅羽会長の二人だけの例会となりました。二人なら交通の便の良い新都心駅そばのサイゼリアで、ということでテーブル越しに例会を持ちました。例会としては最小単位ながら、アルコール抜きで2時間半も熱心におしゃべりに興じることになりました。はたで見ていた客やウェイトレスはどう感じたでしょう。写真はありません。上松メンと浅羽メンの対面図をご想像ください。その通りです。（浅羽 記）

## ◆ 2月よる談会は対面・例会はズームで

11日のよる談会は浅羽会長がコロナ感染でダウン。でも予定どおり上松メンと三浦メンが新都心駅近くで会合を持つことができました。詳細は省略します。

他方 28日の例会は会長が完全復帰ならずズームの親睦会となりました。（4ページ写真）

## ◆ 次期会長・部役員研修会 メモ

3月5日は午前10時開会から午後5時までの長時間の次年度研修会となった。98名出席。東山荘での開催が3年続いて中止になったが、ZOOMなので在宅でパソコンで参加できるのが好評。今回は佐藤重良次期理事（甲府21）の意向で前半の報告や説明を短くし、グループの時間を充分とった。グループは3つ：（1）会員増強をどう進めるか（2）YMCAを支え地域に根ざす（3）コロナを超えてやめられないクラブ作り。私は2グループに参加。YMCAとワイズの関係強化の



試みとしての第1回「ユースアクション・プロジェクト」について山田公平氏の説明があった。各地のユースが応募

した地域活動案を審査し、採用グループに資金補助するというもの。この活動がワイズなりのユース・エンパワメント支援になることを期待したい。

なお、私は次期会長と同時にLT委員として準備段階から携わったが山下LT委員長のご努力には心から敬意を評したい。（浅羽 記）◆

## ◆ 3月よる談会 メモ

16日午後7時に新都心駅に集まったのは三浦、衣笠、上松、浅羽に加え、今月の卓話をお願いしている浦野都光氏がゲストで参加して下さった。ワクチン証明を忘れた輩がいて居酒屋はだめ。デニースに収まり、ノン・アルコールと食事で楽しい話題はつきず。盛り上がりつつあるところにウェイトレスが来て8時閉店を告げられ「エッ！」それでもワイズらしく20分粘った。浦野氏を囲んでブリテン写真を撮ったが、全員ワイズと見紛う。中央が浦野氏、向かって左が病み上がりで多少痩せた浅羽メン。（浅羽 記）◆



## 今時のユース気質 (5)

### 中国文化との出会いから

神作拳呉（かんさくけんご）

先日、成人した私を大先輩の御二方がお祝いしてくださり、そこでYMCAのエピソード、各方面でご活躍されている方々の話を聞かせていただきました。



私の興味は特に歴史・伝統（主に近代史、郷土史、自分史）、政治（主に国際政治、中国政治）、外国語及び外国語教育（英語、中国語）、哲学、漢字（草書、漢学）などです。中学校より英語学習に没頭し、元々は欧米留学を目指していた私ですが、高2の頃より中国留学を志すようになりました。以前の私は銀座で爆買いし、どこでも大声で話す中国人を目の当たりにし、周囲にあまり中国出身の友人もいなかったため、中国や中国人に対し偏見がありました。しかし教育者で漢学に長けていた高祖父の影響と、大叔父について行った北京での経験をきっかけに中国文化、現地の人々に対する理解が深まり、それ以来、中国人コミュニティに参加し、中国人留学生と一緒に時間を過ごすようになりました。

きっかけは大事です。若い頃はきっかけやチャンスを探していなければ、素敵な人とも一生出会えないと思います。私は元々様々な方と関わりたい、知りたいという欲求が強かったため、自分できっかけを積極的に見つけていくことができました。人それぞれ自分のタイミングはあると思いますが、中には興味や関心が定まらず、一歩踏み出せない人もいます。なので私の現在目標、実践していることは、頑張りたけれど、なかなか一歩踏み出せない友人や、新しい環境・興味を見つけた友人のお手伝いをすることです。大学生活中はアジアをメインに学生交流を通して、世界平和のために海外の若者と協力し、イベントや学習会を開催に力を入れていきます。◆

\* 東京都出身2002年生の20才。高校時代にNPO“World Theater Project”で人権関連の映画上映活動に参加。昨秋より上海外国語大1年生。現在コロナのため自宅でオンライン授業と他国留学生と交流中。神作氏については1月ブリテンで紹介。彼には【ユース+国際】の視点から時々寄稿を依頼したいと思っています。

## ◆ さいたま市の市民活動を知ろう (6)

### ヘルシーカフェ「のら」

浅羽俊一郎

紅梅が咲き始めた3月初旬に武蔵浦和・中浦和・西浦和の3駅の間地点に位置する市民活動「のら」を訪ねた。住宅街の中に市民に居場所を提供したいという大家さん

(小峰弘明氏)と、多世代向けの活動を始めたい主催者(新井純子氏)が意気投合し、スタッフやボランティアとともにすでに12年間続け、そこで多くの住民が出会いと発見を体験。「のら」はカフェとしても健康食材を使った料理や貸しスペースで収益的にも自立の努力をしている。



私が訪ねた日、親子連れなどいろいろな人がやってくるのを一人ひとり純子さんが笑顔で迎えていた。居場所という活動は、知合いであろうが、偶然居合わせた者同士であろうが、挨拶し合うこと、そのための仕掛けが必要だと気づいた次第。そう言えばある方が評していた通り「のら」はまさしく「まちなかの山小屋」だと納得させられた。今回小峰氏と新井氏に出会えたことをワイズ活動に活かしたい。(写真はカウンター内の笑顔の新井純子氏) ❖

## メンバーズ・エッセイズ



### 「和解の務めに生きる・YMCAの課題」

「我が恩師 関田寛雄先生 No.6」

上松寛茂



山梨 YMCA 元総主事だった故大澤英二氏の1周年忌に記念集会在昨年11月6日に同YMCAで開催され、かつての学友関田寛雄先生(青山学院大名誉教授)が講演。私は追っかけで出掛けたが難聴で良く聞き取れず、後日同YMCAとワイズメンズクラブが中心となってまとめた冊子からYMCAの課題の部分を抜粋して埼玉ワイズのブリテンに掲載することを許していただいた。抜粋の要旨(上松の主観的解釈の受け止め)は次の通り。

私は、かつてYMCAの基本原則検討会のメンバーに選ばれ、YMCAの精神、基本方針について議論していく中で、戦争中のYMCAの営みについての歴史的反省点がないことに非常に違和感を覚えた。戦争中のYMCAは軍との協力関係にあり、大日本帝国の軍隊における中国進駐は西欧植民地からのアジア解放の戦争なんだと弁明、擁護した。

基本原則の奥には歴史的認識の問題がある。アジア太平洋地域の国々に対する歴史的責任を自覚して新たに反省の上に立って諸YMCAとともに平和の構築に進んでいく必要があるという項目を入れてもらっ

た。悔い改めと新しい出発への決意なしに本当の意味での国際協力は実現できない。

1910年、日本は朝鮮半島を植民地化し、皇民化政策を推し進める。天皇の臣民として朝鮮・台湾民族を否定、朝鮮名を日本名に変える創氏改名を強制した。私が牧会した川崎戸手教会の在る多摩川河川敷には在日コリアンが400人も居住。強制連行で連れてこられたおばあちゃんから朝鮮での日本軍の残酷な行状を聞いた。日本統治時代の1919年3月1日に、朝鮮で発生した大日本帝国からの独立を目指した三・一運動を目撃した生き証人がすぐ近くに住んでいた。ドイツはユダヤ人の墓に大統領自らひざまずいて詫言、反ナチ政策を誓っているのに、日本は不十分。

2015年にあるルートで朝鮮民主主義人民共和国に行った。私の父が大正時代、北にあるメソジスト教会牧師だったのでそれをたどる旅だった。38度線ではかつては韓国側から、今回は北朝鮮側から民族統一への熱い祈りをささげた。

「平和」と「和解」、「共生」に向けての運動をYMCAから始めたらどうか。具体的なアクションとして私は朝鮮学校への国の援助の実現などの支援活動をしている。YMCA同盟総主事の田口努さんとともに共同代表をしている。

民間の特にキリスト教団体であるYMCAが率先して先手先手を打っていく。まさにこのことが主イエス・キリストの福音の真理ではないでしょうか。❖

### 「東日本区書記をやって気がついたこと」

衣笠輝夫



今期の区書記として昨年7月～現在に至っていますが、実際には昨年1月からもう書記活動が始まっていたといっても過言ではありません。この期間で自分の中で何が変わったかと考えますと、今まであまり読むことが少なかった「ハンドブック&メンバーシップロースター」のハンドブック部分をよく読むようになったことです。これは職務としてワイズメンズクラブ運営に必須だからですが、特にハンドブック部分は注意して読むようにしています。

先達がこれまで運営してきたエッセンスが詰まっていると感じられます。関心がないとただのデータと文字羅列にすぎませんが、よく見ると規則・ルールや内容に毎年加筆修正が加えられていることに気づきます。

ワイズメンズクラブの役職者のほとんどは任期が1年になっています。1年間ではやっと理解したところで任期が終わりますので、継続事項の引継ぎもうまくいきません。それを現・直前・次期のトロイカ体制とハンドブックが補うことでなんとか運営されていきます。

多くの人との出会いが与えられ、又今まで気付かなかった多くのことに気付かされ感謝しております。❖

# YMCA SPACE

## ◆ YMCA 便り

[行事]

2/23 ピンクシャツデー (いじめをなくそう) 全国のYMCA と地域の賛同者が広げているキャンペーンです。

3/1(火) 早天祈祷会 (山下真実牧師/ふじみのバプテスト教会)

3月のスキーキャンプは中止

4/1(金) 早天祈祷会 (小谷 全人 総主事)

4/5(火) クローバー新年度開始

## ◆ 浦和 YMCA の小窓から

(\*日頃活動を見ることのないワイズに普段着のYMCAを知ってもらおうと職員がストーリーを共有してくれる欄です)

3月は卒業、お別れの月。寂しい気持ちにもなりますが、新たな旅立ちに心からの応援を送る機会でもあります。先日、たんぼぼグループの高校3年生が、お別れの会で挨拶をしてくれました。「毎月の活動が楽しかったです。4月からは『ちふれ化粧品』の工場働きます。がんばります」と立派な姿を見せてくれました。彼は、非常にまじめで正義感の強い性格でした。「また遊びにきてね」と声をかけたところ、「お仕事があるので、そんな時間はないと思います」と返され、リーダーみんなでクスッと笑ってしまいました。

社交辞令のようなやりとりは苦手ですが、いつでも一生懸命に取り組む彼は、きっと立派に働いてけると信じています。(太田聡 館長) ◆

## お便り



三浦メン：最近台所の野菜で面白いことをしました。キャベツの芯を水耕栽培の要領で水につけておいたのですが、葉が出てきたのです。そこで外に植えてみました。葉が青々として来ました。一時は枯れたと思っていましたがたいしたもの。収穫は無理ですが春であるとともに植物の生命力に感動しました。

ニンニクは、芽が出てきていたのですが、同じようにしたところ、これも順調に伸びてきました。ずいぶん大きくなりました。増えるかどうか楽しみです。念の為、肥料は100円ショップのハイポを使用しました。最近感動しないことと好奇心が薄れてきたことが、年寄りみたいです。

太田担当主事：2002年に新卒で埼玉YMCAに入職し20年が終わり、4月からは横浜YMCAに2年間出向することとなりました。今ここに立っていただけるのは、数えきれない人との素晴らしい出逢いがあったからだ、確信しています。埼玉ワイズの方々とは、フェスティバル等での実際のご協力だけでなく、例会後の小峰ビルでのお食事会など、事あるごとに「太田さんは何がしたいの。何がワイズにできるの」と声をかけていただき、大きな励みでした。今までのお支えに

感謝し、横浜で精一杯チャレンジをし、その経験を埼玉に持ち帰ってまいります。

塀和(はが)氏：2月初めに交通事故で愛車を失いました。私の車の人生も終わりかと思いましたが、気持ちを奮い起こし、もう一度やり直すことにしました。年金暮らしには厳しいので再度仕事をすることにしました。幸いデイ・サービスのドライバーの口があったので72歳にしてお金に縛られる身となりました。いつまで続くか、頑張ります。

## 最近気になった NEWS

- ✓ プーチンがロシア軍をウクライナに侵攻開始させた。事態は悪化の一途。
- ✓ 戦争が泥沼化している異常な事態の中で開催された北京冬季オリンピック・パラリンピックが閉会。
- ✓ 3/16、夜間東北にて大地震。その影響で東電の電力供給が逼迫。

## \* 今後の主な行事日程

4/2 関東東部 EMC を語る会

4/2 地域奉仕尾活動 W4W の日

4/16 関東東部第2回評議会

## 事務報告

- ・1月例会報告 会員在籍数 7人  
例会出席数 2人 ゲスト・ビジター 0人  
よる談会 4人  
会員出席率 75%
- ・2月例会報告 会員在籍数 7人  
例会出席数 7人 (ズーム)  
よる談会 2人  
会員出席率 57%

編集後記：人生に出会いはちよくちよくあることですが、出会った後どうするかで関係が決まると思います。ワイズは意外とドライ。若い神作さんの一文に出会いを大切にしている姿が読み取れました。太田主事、横浜Yで良い出会いを祈っています。(SA)

## Men's FOTO Gallery



2月28日例会は会長コロナ症で中止かと思われましたが、ズームで無事開催。久しぶりに小林メン・メネットがツーショットで参加。川越クラブの吉野会長も盛り上げてくれました。(ズームに) 感謝します。